

【『働き方改革』セミナー】

企業にとっての『働き方改革』の本質は

②

生産性の向上編



目次

- 生産性の向上
- RPA（Robotic Process Automation）
- AIは人の仕事を奪う存在なのか？
- 事例：金融・銀行におけるAIの活用例
- 事例：金融・銀行におけるAIの活用
- AIを実際の現場に導入する際のプロセスは
- AIに代表される自動システムの今後は
- 生産性向上のために先進企業が行った事
- 事例：生産性向上のために先進企業が行った事（止めた事）
- 経営者・管理者・総務としてやるべきこと
- まとめ

②

生産性の向上



具体的な推進方法

① 働く環境・ツール

ICT

テレワーク

② 働く制度・ルール

就業規則

人事制度

③ 働く意識・風土

意識統一

風土醸成

RPAとは

パソコン上の操作を記録して 人の代わりに作業するソフトウェア型のロボット



RPAやAIの発達が人間から職を奪うのではないか？



RPA研究の第一人レスリー・ウィルコックス教授

「RPAによって職が奪われた事例は1つもなかった」

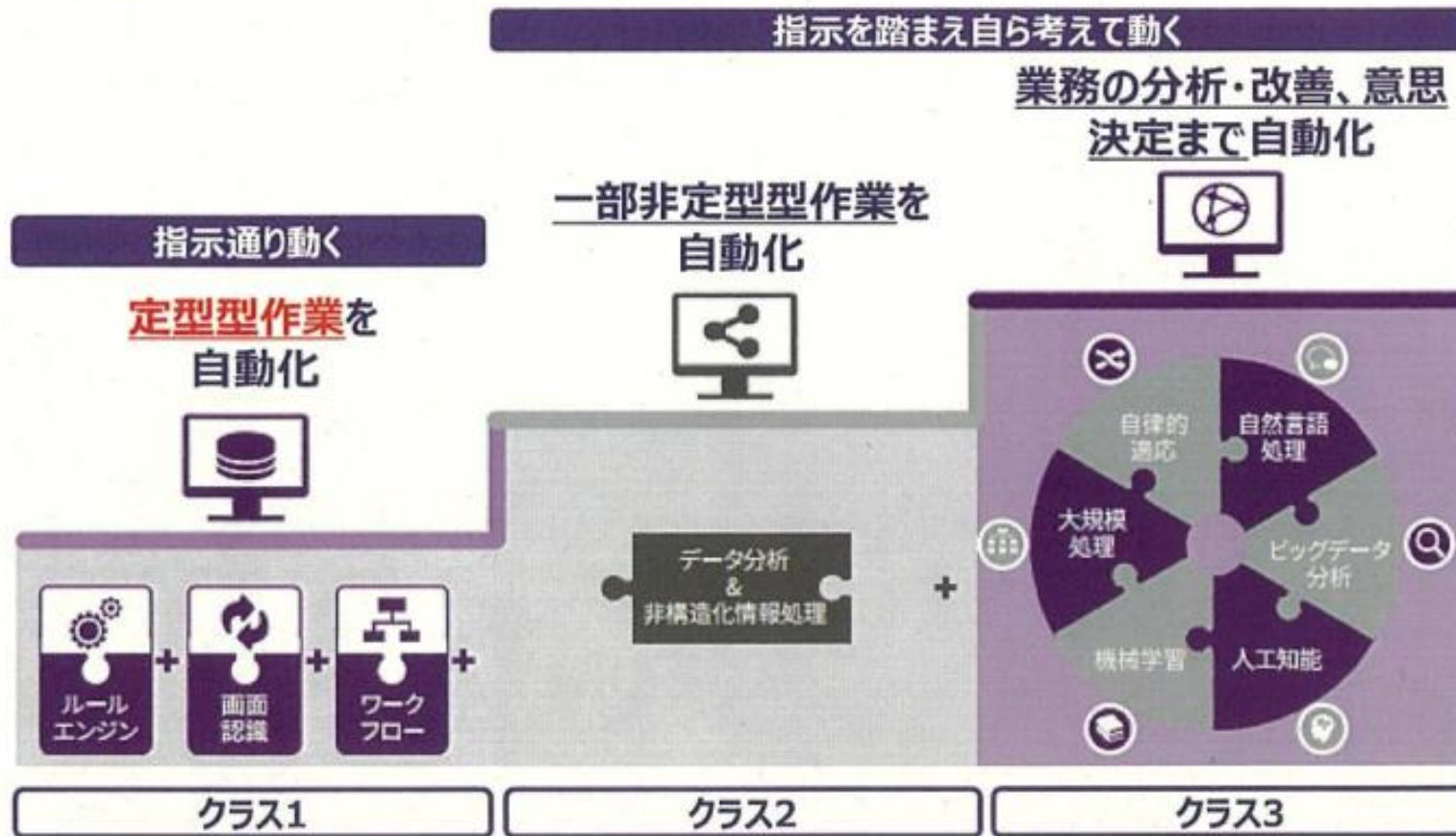
「産業革命以降、135年間にわたって、人間はロボットのように働かされてきた。

RPAによって人間は、仕事の楽しさを取り戻すことができる」

⇒ **ルーチンワークで消費していた多くの時間を、創造的な時間を使うことができ、最終的には成果を今以上に高めることができる！**

RPA (Robotic Process Automation)

RPAの動向



出典) KPMG 「KPMG insightVol.17」

現在はクラス1で、5年後にはAIと連携するクラス3に到達予定